

地球温暖化対策実施状況報告書

令和元年 7月 30 日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区港町1-1

氏名 横浜市病院事業管理者 平原 史樹

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	横浜市病院事業管理者 平原 史樹				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市中区港町1-1				
主たる事業の業種	大分類	P 医療、福祉			
	中分類	83 医療業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	10,194	kl	自動車の台数	台

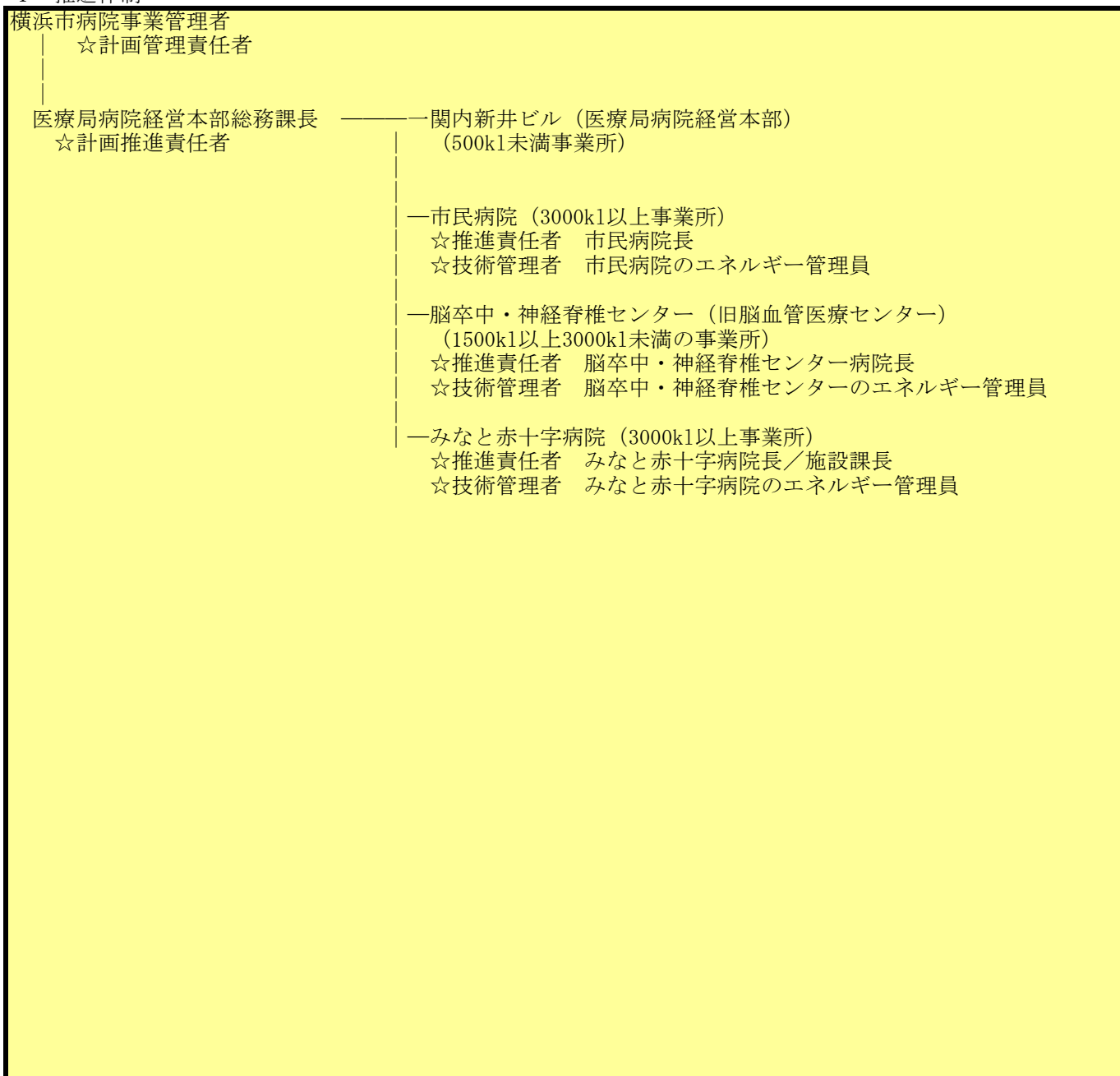
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>市内3か所に公立病院を経営する事業者として、現在の温室効果ガスの排出量を把握する。 また、温室効果ガスの排出量を削減する取組を計画化し、横浜市病院事業全体で削減の努力をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・エネルギー使用状況を管理する ・適切な冷暖房温度の設定を行う・不要な照明を消灯する ・照明器具等を省エネ型へ切り替えていく・職員に対して、省エネ行動の推進を啓発する <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ボイラー（市民病院）、自家発電装置（みなと赤十字病院）</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 エネルギー消費の抑制及び電気・熱源等のエネルギー供給体制の高効率化のため</p> <p>③設備更新スケジュール 更新が全て完了したため、更新予定はない。</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	医療局病院経営本部総務課
	所在地	横浜市中区尾上町一丁目8番地 関内新井ビルディング4階
	閲覧可能時間	月曜日から金曜日まで（国民の祝日・年末年始は除く）の8時45分から17時まで（12時から13時までは除く）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	18,861	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	18,270	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	18,295	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	横浜市病院事業は、市民病院、脳卒中・神経脊椎センター、みなと赤十字病院、3つの市立病院の経営を担当している。各病院は、患者への最適な療養環境の提供が求められており、その環境の維持に多くのエネルギーを消費している。各病院では温暖化効果ガスの排出抑制のための基本方針を実践することで前年度比で1%ずつ削減する予定。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	19,105	t-CO ₂	削減率	▲ 1.3 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	18,943	t-CO ₂	削減率	▲ 3.7 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	28年度は、医療機器の新設・運用開始等により電力消費量が増加し、目標達成にいたらなかった。29年度も大幅な削減は難しいと思われるが、職員への省エネ行動の啓発などを中心に、継続的に省エネ活動に取り組んでいく。								
第二年度 (2017年度)	排出量	19,499	t-CO ₂	削減率	▲ 3.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	19,143	t-CO ₂	削減率	▲ 4.8 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	29年度も28年度同様に医療機器の新設・運用開始等により電力消費量が増加し、目標達成にいたらなかった。30年度も大幅な削減は難しいと思われるが、職員への省エネ行動の啓発などを中心に、継続的に省エネ活動に取り組んでいく。								
第三年度 (2018年度)	排出量	19,346	t-CO ₂	削減率	▲ 2.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	18,846	t-CO ₂	削減率	▲ 3.2 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	夏季の猛暑の影響で冷房設備の電力消費量が増加し、目標達成にいたらなかった。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	医療機器の新設や、極端な気温の変化に伴い、消費エネルギー量が増加し、計画期間全体で目標達成にいたらなかった。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	2	14,312	2	14,441	2	14,755	2	14,811
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,541	1	4,657	1	4,737	1	4,528
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	1	8	1	8	1	6	1	6
合計	4	18,861	4	19,105	4	19,499	4	19,346

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度												
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況					
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度				実施済	4/4	—	年度				実施済	4/4	—	平成	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度				実施済	4/4	—	年度				実施済	4/4	—	平成	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/3	—	2018年度		コンプレッサの台帳作成など、順次整備している。		実施中	0/3	—	2019年度		整備が進まなかったため完了予定年度延長。電子データベースでの台帳作成予定		実施済	3/3	—	平成	年度		対策済
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/3	—	年度	再整備工事を控えているため、当面は現状の管理。		実施中	1/3	—	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし				実施中	1/3	—	平成	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし(再整備後実施)	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		各設備別のエネルギー使用量のリスト化を行っている。		実施中	2/3	—	2019年度		エネルギー使用量リスト化未完了のため完了予定年度延長。各設備別のエネルギー使用量リスト化予定		実施済	3/3	—	平成	年度		対策済
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施済	3/3	—	年度		蒸気配管系統図など整備済。		実施済	3/3	—	年度				実施中	2/3	—	2020年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし(再整備後実施)	一部対策済	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	非該当	/	—	年度	対象施設ではないため。		非該当	/	—	年度	対象施設ではないため。				非該当	0/0	—	平成	年度	対象施設ではないため。	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	1/3	—	2018年度		清掃に関するルールを示す資料を作成中		実施中	2/3	—	2019年度		全事業所での対応ができていないため完了予定年度延長。平成31年度を目途に順次取組を進めていく。		実施済	3/3	—	平成	年度		対策済
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		平成30年度を目途に順次取組を進めている。		実施中	2/3	—	2019年度		完了予定年度延長。平成31年度を目途に順次取組を進めていく。		実施中	2/3	—	平成	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし(再整備後実施)	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/3	—	年度	管理方法の基準を作成中。		実施中	1/3	—	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし				実施中	2/3	—	平成	年度	平成31年度を目途に順次取組を進めていく。	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	1/3	—	2018年度		管理方法の基準作成中。		実施中	1/3	—	2019年度		完了予定年度延長。病院の為、患者体調整優先の為、その都度温度変更している。(事務所側は実施)		実施中	0/3	—	2019年度		平成31年度を目途に順次取組を進めていく。	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施中	実施中	0/3	—	2018年度		一酸化炭素濃度及び二酸化炭素濃度を測定予定		実施済	3/3	—	年度		対策済		実施済	3/3	—	平成	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/3	—	年度	再整備工事を控えているため、現行実施予定なし。		実施中	1/3	—	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし				実施中	1/3	—	平成	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし(再整備後実施)	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	1/4	—	2018年度		運用ルール資料の作成中。		実施中	3/4	—	2019年度		本実施事業所については平成31年度を目途に順次取組を進めていくため完了予定年度延長。		実施中	3/4	—	2019年度		平成31年度を目途に順次取組を進めていく。	
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 冷凍機、蒸気ボイラー 3/26	—	2018年度		各設備のCOP・ボイラ効率のリスト化(算出)を行っている。		実施中	(設備の種類) 冷凍機、蒸気ボイラー 3/27	—	2019年度		対応未実施のため完了予定年度延長。冷凍機のCOPリスト化予定		実施中	(設備の種類) 冷凍機、蒸気ボイラー 7/26	—	2019年度		COP及び効率の把握	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 冷凍機 0/14	—	2018年度		記録表などを活用し、全台数管理予定		実施済	(設備の種類) 冷凍機 15/15	—	年度		対策済		実施済	(設備の種類) 冷凍機 13/13	—	平成	年度		一部対策済
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 0/12	—	2018年度		業者に委託し、空気比を適正値に調整予定		実施済	(設備の種類) 蒸気ボイラー 12/12	—	年度		対策済		実施済	(設備の種類) 蒸気ボイラー 12/12	—	平成	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 3/12	—	2018年度		管理標準の作成中。		実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 3/12	—	2019年度		管理標準未作成のため完了予定年度延長。排ガス温度に関する管理標準の作成予定		実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 5/12	—	2019年度		平成31年度を目途に順次取組を進めていく。	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類) ッグー 10/12	—	2018年度		保温劣化箇所の事後補修を行っている。		実施済	(設備の種類) ッグー 12/12	—	年度		対策済		実施済	(設備の種類) 蒸気ボイラー 12/12	—	平成	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉の利用を想定していないため。		非該当	(設備の種類) /	—	年度	工業炉の利用を想定していないため。				非該当	(設備の種類) /	—	平成	年度	工業炉の利用を想定していないため。	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサ 0/4	—	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし		実施中	(設備の種類) コンプレッサ 0/8	—	年度	再整備工事を控えているため現行実施予定なし				非該当	(設備の種類) コンプレッサ 0/0	—	平成	年度	対象施設ではないため。	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサ 0/4	—	2018年度		給気低減策の運用を示す資料の作成中		実施中	(設備の種類) コンプレッサ 0/3	—	2019年度		給気低減策の運用を示す資料未作成のため完了予定年度延長。現在の作成中		実施済	(設備の種類) コンプレッサ 4/4	—	平成	年度		対策済

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度											
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				年度								/	—	平成	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				年度								—	/	平成	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度				年度								—	/	平成	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				年度								/	—	平成	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度				年度								/	—	平成	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成 30年度	市内事業所から排出される排出量の全部	500	東京電力エナジーパートナー, 丸紅新電力, F-Power
2		平成 年度			
3		平成 年度			
4		平成 年度			
5		平成 年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	【市民病院】E S C O事業により、熱源効率の悪い機器の更新を行った。
計画期間内に実施する対策	省エネ型の照明を順次導入して電気使用量の削減による温室効果ガスの排出を抑制する。
第一年度実績	ゴミの分別・再資源化を推進した。
第二年度実績	
第三年度実績	

14 実施状況等に対する自己評価

2019年度は原油換算エネルギー使用量を削減できるよう、職員に対して省エネ行動の推進を啓発する。
--